

滝のある小さな和庭の制作

テーマ：玄関脇の傾斜空きスペースにミニ龍門瀑のある和庭の制作

〈 その1 滝の設え(2) 〉

3. 滝組の施工

「その1 滝の設え(1)」からの続き

4) 滝口周辺の石組み

滝口ピットや水の流れ部分が出来上がると、周りの石組みにかかります。使う石は配置場所に応じてイメージを持って石を購入します。

滝口周りはブロック積の上に鉄平石を貼っています。この鉄平石をできるだけ目立たなくするために鉄平石の上に扁平な火山岩、あるいは片面を平らに切断して扁平にした火山岩を貼り付けます。



購入した石（右端の石は遠山石用）

下左写真はピット外側左の貼り付け箇所、下右写真は接着増強剤を入れたモルタルで石を貼り付けたところです。安定しない場合は固まるまで何らかの方法で押さえておきます。



鉄平石を火山岩で覆う箇所



火山岩をモルタルで固定

滝口ピット内側に貼り付ける石については後のピット内のメンテナンスを考え取り外せるようにしておきます。石の片面を平らに切断したものを鉄平石の前にぶら下げます。ここではステンレスの矩折れ金具かねを使用しました。



背面平らな石に矩折れ金物を付け、鉄平石の前にぶら下げる



滝口後ろにぶら下げた火山岩



滝口周りに火山岩を配置する

さらに滝口周りに火山岩を配置します。安定の悪い石はモルタルで固定して滝口周りの完成です。



滝口周りの石組み（後ろの尖った岩が遠山石）

5) 遣水^{やりみず}周りの石組み

遣水周りの石組みは漏水に対する対処が不要なので地面に直接埋めます。漏水への気遣いをする必要がないため、石の配置は自由にできます。いろいろ配置を変えて気に入った配石を行います。

当初の計画には無かったのですが、石組みに手水鉢^{ちょうずいばち}を設けることにしました。流す水は高低差の関係から遣水の水を利用できないことと清浄な水を流すということで、水道水を配管して引き込むことにします。水道管は給水箇所まで垂直に立ち上げ、ホース継手を介したビニールホースを石にあけた穴を通し、鉢(懸樋)の中ほどまで通します。給水バルブは石組みで囲い見えないようにします。



水道引込み配管



竹の笕で導水

排水は浸透式とし、地中に埋まっている擁壁の裏込栗石に浸透させます。

あとは植栽を施しながら、石組の調整を行います。

以下工事中

元のページへ戻るにはブラウザの
(戻る)ボタンをご使用ください。



石組みがほぼ完了